



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社 カネミツ 上場取引所 東
 コード番号 7208 URL http://kanemitsu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 俊明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 業務本部長 (氏名) 金光 秀治 TEL 078-911-6645
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,245	53.8	45	—	58	—	30	—
2021年3月期第1四半期	1,460	△30.6	△212	—	△231	—	△166	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 123百万円 (—) 2021年3月期第1四半期 △429百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	5.88	—
2021年3月期第1四半期	△32.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	14,317	9,197	63.1
2021年3月期	14,146	9,147	63.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 9,029百万円 2021年3月期 8,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	13.00	—	13.50	26.50
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	13.50	—	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,400	54.7	140	—	160	—	160	—	31.29
通期	9,200	30.8	400	—	370	—	360	—	70.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日 (2021年8月6日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	5,129,577株	2021年3月期	5,129,577株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	16,291株	2021年3月期	16,281株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	5,113,288株	2021年3月期1Q	5,113,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさから持ち直しの動きがあるものの、足許では新型コロナウイルス感染症再拡大、原材料価格高騰、半導体等の部材不足などのリスク要因が顕在化しており、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

自動車業界におきましては、登録車と軽自動車の前年度の需要低迷からの回復により、国内の販売台数は前年同期比で23.8%増加しました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の売上高は2,245百万円（対前年同四半期785百万円増加[53.8%]）となりました。利益面では、営業利益45百万円（対前年同四半期は営業損失212百万円）、経常利益58百万円（対前年同四半期は経常損失231百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円（対前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失166百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

日本は売上高1,538百万円（対前年同四半期674百万円増加[78.1%]）、営業損失68百万円（対前年同四半期は営業損失246百万円）となりました。東南アジアは売上高541百万円（対前年同四半期44百万円増加[9.0%]）、営業利益80百万円（対前年同四半期53百万円増加[201.8%]）となり、中国は売上高230百万円（対前年同四半期91百万円増加[66.1%]）、営業利益35百万円（対前年同四半期29百万円増加[484.6%]）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円の増加となりました。流動資産は151百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加133百万円、受取手形及び売掛金の減少35百万円、電子記録債権の増加79百万円、その他の減少32百万円等によるものであります。固定資産は19百万円増加しましたが、主として機械装置及び運搬具の増加14百万円、建設仮勘定の増加39百万円、投資有価証券の減少41百万円等によるものであります。

負債は5,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加しました。流動負債は210百万円増加しましたが、主として支払手形及び買掛金の増加60百万円、電子記録債務の増加10百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加27百万円、未払法人税等の増加29百万円、その他の増加84百万円によるものであります。固定負債は89百万円減少しましたが、主として長期借入金の減少51百万円、リース債務の減少22百万円等によるものであります。

純資産は9,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加となりましたが、主として利益剰余金の減少38百万円、その他有価証券評価差額金の減少30百万円、為替換算調整勘定の増加118百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年8月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,021,903	3,155,083
受取手形及び売掛金	1,786,593	1,750,819
電子記録債権	488,881	568,093
商品及び製品	161,093	169,340
仕掛品	498,148	477,340
原材料及び貯蔵品	71,550	90,937
その他	88,906	56,633
流動資産合計	6,117,077	6,268,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,240,310	4,280,374
減価償却累計額	△2,262,493	△2,322,185
建物及び構築物 (純額)	1,977,816	1,958,189
機械装置及び運搬具	9,552,177	9,679,014
減価償却累計額	△7,445,832	△7,558,394
機械装置及び運搬具 (純額)	2,106,344	2,120,620
工具、器具及び備品	1,201,592	1,240,668
減価償却累計額	△1,022,786	△1,049,357
工具、器具及び備品 (純額)	178,805	191,310
土地	2,241,189	2,241,655
建設仮勘定	252,295	292,267
有形固定資産合計	6,756,452	6,804,042
無形固定資産		
のれん	10,062	9,147
その他	120,267	128,665
無形固定資産合計	130,329	137,812
投資その他の資産		
投資有価証券	907,513	865,918
関係会社株式	85,376	98,100
その他	149,985	143,257
投資その他の資産合計	1,142,875	1,107,276
固定資産合計	8,029,657	8,049,131
資産合計	14,146,735	14,317,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	530,986	591,837
電子記録債務	380,000	390,000
短期借入金	515,339	523,888
1年内返済予定の長期借入金	416,228	444,177
リース債務	102,465	97,836
未払法人税等	16,024	45,099
賞与引当金	120,522	120,521
役員賞与引当金	10,326	3,714
その他	570,145	655,051
流動負債合計	2,662,040	2,872,125
固定負債		
長期借入金	1,235,469	1,183,905
リース債務	299,447	276,933
長期未払金	79,380	79,380
繰延税金負債	408,054	393,545
退職給付に係る負債	258,551	258,641
その他	56,124	55,023
固定負債合計	2,337,027	2,247,428
負債合計	4,999,068	5,119,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,073	556,073
資本剰余金	506,523	506,523
利益剰余金	7,463,292	7,424,374
自己株式	△15,859	△15,867
株主資本合計	8,510,030	8,471,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306,072	275,342
為替換算調整勘定	164,151	283,137
その他の包括利益累計額合計	470,223	558,480
非支配株主持分	167,412	168,239
純資産合計	9,147,667	9,197,825
負債純資産合計	14,146,735	14,317,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,460,215	2,245,849
売上原価	1,275,418	1,760,188
売上総利益	184,796	485,660
販売費及び一般管理費	397,515	440,079
営業利益又は営業損失(△)	△212,718	45,581
営業外収益		
受取利息	3,002	647
受取配当金	5,514	5,627
持分法による投資利益	—	7,209
その他	6,588	8,632
営業外収益合計	15,104	22,117
営業外費用		
支払利息	5,940	7,148
持分法による投資損失	16,910	—
有価証券評価損	1,355	—
為替差損	9,465	1,982
その他	0	0
営業外費用合計	33,672	9,131
経常利益又は経常損失(△)	△231,285	58,568
特別利益		
固定資産売却益	—	4,078
保険解約返戻金	16,968	4,091
補助金収入	2,000	11,895
特別利益合計	18,968	20,064
特別損失		
固定資産売却損	197	975
固定資産除却損	6,956	19
特別損失合計	7,153	994
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△219,470	77,638
法人税、住民税及び事業税	9,762	38,673
法人税等還付税額	△21,506	—
法人税等調整額	△33,129	8,542
法人税等合計	△44,873	47,215
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△174,597	30,422
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,703	311
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△166,894	30,111

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△174,597	30,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,276	△30,729
為替換算調整勘定	△282,632	118,542
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,491	5,514
その他の包括利益合計	△254,846	93,328
四半期包括利益	△429,444	123,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△385,856	118,368
非支配株主に係る四半期包括利益	△43,587	5,382

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、有償受給取引について、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を総額で計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、従来の会計処理と比較して、当第1四半期連結累計期間の売上高は5百万円減少し、売上原価は5百万円減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高も影響ありません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	853,991	475,252	130,971	1,460,215	—	1,460,215
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,760	21,490	7,848	39,099	△39,099	—
計	863,752	496,742	138,820	1,499,315	△39,099	1,460,215
セグメント利益又は損失(△)	△246,281	26,741	6,028	△213,512	793	△212,718

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額793千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,635千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等9,429千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
プーリ	631,931	434,270	204,965	1,271,167	—	1,271,167
トランスミッション	413,128	—	—	413,128	—	413,128
その他	481,974	68,827	10,750	561,552	—	561,552
顧客との契約から生じる収益	1,527,034	503,098	215,715	2,245,849	—	2,245,849
外部顧客への売上高	1,527,034	503,098	215,715	2,245,849	—	2,245,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,713	38,426	14,845	64,984	△64,984	—
計	1,538,747	541,524	230,561	2,310,833	△64,984	2,245,849
セグメント利益又は損失(△)	△68,384	80,699	35,242	47,557	△1,975	45,581

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,975千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△10,233千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等8,257千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。